

登録ID	演者	所属機関名	演題名
jmta002	加東 恵	青少年活動交流センター 相談員	コロナ禍におけるITを活用したセッションの試み 介護者のレスパイトを目指したZOOMとYoutubeの活用
jmta004	柿崎 次子	ホリスティック音楽療法の会	ダウン症児が自分の要求を言語化できるようになった要因とは ー音楽の動機づけ・学びのスタイル・聴覚情報処理ー
jmta005	西川 慈子	音楽療法センター コスモス・キッズ	複数の音楽療法士が連携して行う児童デイサービスの個別音楽療法 メリットとデメリットの考察と今後の課題
jmta006	竹島 尚子	自宅音楽教室	重症心身障がい児の対人的なコミュニケーション能力の促進を目的とした音楽療法 ～研ぎ澄まされた聴覚と視覚以外の感覚刺激との連動・統合～
jmta007	谷口 愛	鶴巻温泉病院 リハビリテーション部	構音障害を呈した脳梗塞患者に対して、神経学的音楽療法を実施し、発声機能の向上を認めた一症例報告
jmta009	内島みのり	旭川医療センター 看護師	がん患者・家族サロンにおける音楽療法の効果の検討 ～外来・入院患者における生理的・身体的・心理的評価～
jmta010	藤原 啓子	奈良ドレミ研究会	非認知能力を育てるための音楽の活用方法について ミュージック・ケアの実践に見られる非認知能力の育ちの様子から
jmta011	三道ひかり	東京大学生産技術研究所	病院環境への自然音導入の臨床的可能性 業務中の自然音聴取による医療従事者のストレス緩和調査
jmta012	森川 泉	名古屋芸術大学 音楽ケアデザインコース	高齢者集団音楽療法の定量的ビデオ解析
jmta013	原田 大志	成城リハケア病院	通所リハビリでのベル合奏が定着するまでの取り組みと、参加者への心理的効果の検証 活動前後にPOMS II（短縮版）を用いて感情、気分の変化を調査する
jmta014	吉田 豊	おんがくファームまんどろ	ダウン症幼児Aの音楽療法 発達早期の感覚と運動の高次化
jmta015	大森 佳代	ことばと音楽の会	俳句と俳画を使った失語症患者へのアプローチ イメージトレーニングをしながら、歌うように俳句を詠む
jmta017	田村 瞳	西宮音楽療法学会	楽曲や楽器演奏の枠組みを利用した「制作活動」を取り入れたコロナ禍の音楽療法 ～集団目標設定を変えず、感染予防に配慮しながら音楽を用いた、新しい取り組み～
jmta018	七原 真紀	豊橋技術科学大学	脳卒中患者の手指リハビリテーションのための鍵盤楽器演奏課題 表面筋電図とMIDIによる客観的評価と主観的評価の検討
jmta019	小松 睦	庄内ミュージック・ケア研究会	引きこもりとなったAさんの改善をねらった音楽療法 ミュージック・ケアの手法を使った実践
jmta020	丹羽裕紀子	愛知みずほ短期大学	音楽療法と音楽教育の連続性 ー遊びからはじめる即興表現ー
jmta021	多田羅康恵	音楽療法NPOムジカトゥッティ	コロナ禍における音楽療法の未来 コミュニティ音楽療法からの洞察
jmta022	山里 亜未	東海大学医学部総合診療学系精神科学	施設職員の音楽療法に対する評価について
jmta023	山里 亜未	東海大学医学部総合診療学系精神科学	自閉スペクトラム症児の睡眠障害に対する受動的音楽療法の効果について（中間報告）
jmta024	奥田真希子	老人保健施設 レストア川崎	コロナ禍における高齢者入所施設での集団音楽療法 マスク着用の有無が相互に与える影響について
jmta025	榎藤英美里	順天堂大学大学院	パーキンソン病の歩行障害に対する音楽療法 携帯歩行計を用いた歩行分析
jmta026	白川ゆう子	昭和音楽大学	前言語期にとどまる知的障害幼児への個別音楽療法（5） リズム分析から探る相互交渉②
jmta027	宇根美津子	佐藤脳神経外科	20210512：呼吸リハビリを取り入れた個別音楽療法 ～フレイルの予防・離脱～
jmta028	多田羅康恵	音楽療法NPOムジカトゥッティ	アフリカンリズムのヒーリングパワー 劇団四季ライオンキング初代打楽器奏者B Bモフランに学ぶ
jmta029	佐谷 優佳	個人	機能訓練としての音楽療法 高齢者施設での2事例
jmta030	二俣 泉	昭和音楽大学	音楽療法士養成における人格形成教育 知識・技術という「アプリ」を機能させるための「OS」を育てる
jmta031	二俣 泉	昭和音楽大学	「本国以外で音楽療法を学ぶ体験」から発見したこと 「日本→日本以外」・「日本以外→日本」双方の体験から
jmta032	池田 智子	大阪成蹊短期大学	肢体不自由特別支援学校での音楽療法 カバサとミニギターで意図的な手指の動きを促した一事例
jmta033	増澤 綾子	柏葉脳神経外科病院 リハビリテーション部音楽療法室	「音楽による意識障がい意識レベル評価法（MATADOC）」英語版による評価の試み 患者一例の評価による有用性と課題の考察
jmta034	背古菜々美	東海大学大学院医学研究科	化学療法を受ける乳がん患者に対する音楽療法のニーズに関する質的研究
jmta035	鈴木 裕也	昭和音楽大学	ギター伴奏がもっと豊かになるテクニックやアイデア
jmta036	豊 雅子	医療法人社団和風会千里リハビリテーション病院	リハビリテーション病院での音楽療法の実例2 ～チームアプローチの一環としての退院コンサートの効果～
jmta037	甲斐義宏	大分リハビリテーション病院	メロディックイントネーションセラピー（MIT）にて一部改善を認めた運動性失語症例
jmta038	米倉裕子	福岡女学院看護大学	あらゆる人に生涯音楽プロジェクトMLAP（Music with Life for All Project）実践研究報告 ～障がいとともにある人の生涯学習に関する実践研究～
jmta039	金谷めぐみ	通所介護施設「和楽庵」音楽講師	高次脳機能障害をもつAへの音楽療法 なじみの歌による自己表現へのプロセス
jmta041	川嶋陽子	医療法人健成 ひょうたん山医院	「面倒くさい」が口癖の元ピアノの講師A氏への音楽療法 ～伴奏を担当することで自発的な言動につながった事例～
jmta042	三宅博子	国立音楽大学音楽文化教育学科	臨床で出会う「研究のたね」の育てかた ーこのわ音楽臨床研究対話会の試みからー
jmta044	村田沙由里	清志会 大倉記念病院 リハビリテーション科	コロナ禍における発声障害改善・残存機能への「手がかり(キュー)」の一例
jmta045	上羽（糟谷）由香	白菊園病院リハビリテーション科	半側空間無視を合併した脳卒中患者に対して音楽療法を施行した一例（第2報） ～課題として残存した部分的見落としの検討～
jmta046	高橋智里	医療法人泰一會 介護老人保健施設いるまの里 リハビリテーション課	音楽療法士が考える「表出力ー伝える技術」としての演技力を測る尺度の開発 対人援助におけるコミュニケーション力と表現力の分析のために
jmta047	押山千秋	国立研究開発法人産業技術総合研究所 人間拡張研究センター	知識工学による記述法を使った音楽療法実践の可視化 音楽療法における支援の知識共有を目指して

登録ID	演者	所属機関名	演題名
jmta048	内野すみ江	聖徳大学 音楽学部 音楽学科	親子リトミック（音楽遊び）が親の心理状態へ与える影響
jmta049	小原美奈子	神奈川県	視覚・聴覚的体感を取り入れた、自閉症A君のピアノレッスン ー自発的な反復練習のためにー
jmta050	上田 綾子	山口県立徳山総合支援学校	知的障害児への音楽活動がもたらす様々な効果 ～毎日の朝の会における歌唱活動の取り組み～
jmta051	大江 由紀	鶴巻温泉病院 リハビリテーション部	神経学的音楽療法を実施し右半側空間無視が改善し食事動作が自立になった脳血管疾患患者に関する一症例報告
jmta052	一ノ瀬智子	武庫川女子大学音楽学部応用音楽学科	コロナ禍における音楽療法士養成教育としての音楽療法実習の取り組み
jmta053	塚本 昌子	京都市立鷹峯小学校	育成学級における集団音楽療法 打楽器を用いた即興的リズム模倣
jmta054	高山 仁	たかやま音楽療法研究所	保育における音楽療法活用の意義について検討する ～学習指導要領・保育指針の目標を踏まえ～
jmta055	竹原 直美	武庫川女子大学音楽学部応用音楽学科	子どもを対象とした遠隔音楽療法の取り組み
jmta056	平田 恵子	所属なし	精神科デイケアでの集団音楽活動 ～音楽鑑賞を通してコミュニケーション能力の向上を目指す～
jmta057	猪狩 裕史	名古屋音楽大学	音楽研究報告に記すべき内容（事項）とその意義 音楽介入研究の報告ガイドラインの活用をめぐる
jmta058	植木 亜弓	東北労災病院 緩和ケア内科	コミュニティ音楽療法について考える ～地域におけるミュージッキングの実践における療法的枠組みの検証～
jmta059	福井 友子	湘南音楽療法研究会	コロナ禍における音楽療法の実状・実情調査から見える可能性 ～音楽療法中止・継続施設および音楽療法士に向けたアンケート結果から考える～
jmta061	柿崎 次子	ホリスティック音楽療法の会	学校現場における実践拡大を目指した取り組み 巡回相談員として行ってきた音楽療法を振り返る
jmta062	伊藤 孝子	名古屋芸術大学	社会福祉協議会と音楽療法士の協働 ー持続可能な実践コミュニティの生成を目指してー
jmta063	柳澤美夏子	社会福祉法人上田しいのみ会室賀デイサービス	デイサービスでの集団音楽療法 難聴者へのアプローチ
jmta064	三浦直美	昭和音楽大学大学院	音楽療法士の職業アイデンティティに関する一考察 ダブルライセンス保有者へのインタビューを基に
jmta065	松井千代子	富山県音楽療法協会	幸福な老いと向き合う音楽療法 ～参加者と作り上げる集団歌唱活動を通して～
jmta066	園川 緑	植草学園短期大学	保育・子育て支援分野における音楽療法の視点を生かした活動の実践研究を探る
jmta067	松浦 千賀	金沢大学附属特別支援学校	打楽器と鍵盤楽器の演奏技術向上のための段階的プログラム 特別支援学校中学部の授業に音楽療法を取り入れたアプローチ
jmta068	羽石 英里	昭和音楽大学	呼吸、発声・発話、嚥下機能改善を目的とした音楽療法 歌唱スキルの高いパーキンソン病患者の症例
jmta069	松岡登志子	大阪ミュージック・ケア研究会	仲間との活動により不適応行動が軽減したダウン症A氏 グループメンバーが影響しあって見られた変化
jmta070	矢野利香	ケアコートゆうあい	兼任から専従となった音楽療法士の療法活動の変化とその効果 ～アンケート調査から見てきたもの～
jmta071	加藤美知子	ゆーらいふ横浜	リモート音楽療法実習の試み ～1年を通しての経緯を振り返る～
jmta072	三井徳明	日本ポピュラー音楽学会	キャンディーズ、ピンク・レディーがテレビを通じ人々に与えたもの ～1970年代中期から後期の社会現象を音楽療法場面にどう生かすか？～
jmta073	佐藤敦子	福島学院大学短期大学部	コロナ禍における、認定こども園での音楽療法の実践 ー集団保育の中での、気になる幼児3名への音楽療法の効果についてー
jmta074	福田理恵	FUKUON 福田音楽教室	知的障害を伴う重度自閉スペクトラム症Aが自発的ピアノ演奏に目覚める迄の10年間(9～19歳迄)の音楽療法 固定化されたプログラムと突発的イベントを組み合わせる重要性
jmta075	白鳥紀美子	しらとり音楽教室	L I N E グループトーク機能を活用した歌唱活動の一例 ～コロナ禍における高齢者の活動低下防止と繋がり維持の模索～
jmta076	恵阪みどり	第5期必修講習生	集団療育から個別支援を経て集団療育を再開した自閉症スペクトラム児A君との音楽療法 放課後等デイサービスでの取り組み
jmta077	岡部真由美	社会福祉法人総合施設 美吉野園	特別養護老人ホームにおける音楽療法の認知・拡大について ー前回発表から5年、導入から13年経った今ー
jmta078	柿崎 次子	ホリスティック音楽療法の会	音楽療法士の経験的知識を可視化するための構造化 目標へ向けた実践を振り返り、新たな発見を得る
jmta079	井上 祐子	薬院こどもの友クリニック	聴く力と発語の明瞭化をもたらした音楽療法 第2報 ～セルフコントロールの向上を目指した音楽療法～
jmta080	比嘉 屋宜パトリスア 春美	昭和音楽大学 大学院音楽研究科 音楽療法	自閉スペクトラム症児の親のストレス対処能力向上のための音楽を用いた遠隔支援（第2報） ー漸進的筋弛緩法と調整的音楽療法を併用した介入の効果ー
jmta081	松浦 由賀	社会福祉法人龍岡会 特別養護老人ホーム 青葉ヒルズ アート部	失語症者への音楽療法 障害受容の段階に合わせた音楽的・心理的介入に関する考察
jmta083	松本 鈴子	筑波こどものこころクリニック	クリニックでの音楽療法 発達性強固運動症に対して効果が見られた事例
jmta084	林 多見子	筑波こどものこころクリニック	水頭症の児童への音楽療法
jmta085	宮脇 聡子	たんぼぼ生活支援センター	人との関わりの中で、衝動性をコントロールするAくんの音楽療法 放課後等デイサービスでの10年間の取り組み
jmta086	工藤亜希子	東京通信病院	コロナと音楽療法を通して精神科の臨床を考える
jmta087	釣 吉美	介護老人保健施設レインボー	つながりを継続するための録音データでの音楽提供 ～コロナ禍における施設職員との連携から～
jmta088	佐々木かすみ	千葉県発達障害者支援センター	自閉スペクトラム症に対するピアノ指導 歌唱によるピアノ指導効果と家庭練習における余暇スキル形成
jmta089	鈴木 裕也	昭和音楽大学	音楽療法士の成熟過程におけるティッピングポイントを探る
jmta090	竹島恵美子	Melodysalon de CODOMODUS	弱視で言語理解困難なダウン症Aさんのへの音楽療法と演奏活動までの軌跡（1） ～ 楽器習得期（8歳から13歳まで）～

登録ID	演者	所属機関名	演題名
jmta091	松井千恵子	一般社団法人地域福祉推進機構	軽度・中等度知的障害児の集団歌唱活動における民族音楽活用の可能性に関する一考察 —放課後等デイサービスの事例を通して—
jmta092	前田登志枝	あさま音楽療法研究会	広汎性発達障害（知的障害を伴う自閉症）の女兒への音楽療法 ～興味の幅の拡大に寄り添った5歳から19歳までの15年間～
jmta093	猪野 純	ミュージックラボFUN	臨床的即興に観るクライアントの可能性について —音楽ベースの包括的アセスメントの視点から—
jmta094	伊志嶺理沙	特定非営利活動法人クレインハウス	コロナ禍における精神科GHでのオンラインを活用した遠隔集団音楽療法の試み(1) ～Zoomアプリを用いた実践～
jmta095	井上 知美	特定非営利活動法人 クレインハウス	コロナ禍における精神科GHでのオンラインを活用した遠隔集団音楽療法の試み(2) ～Zoomアプリを用いた事例～
jmta097	丸山 敬子	新潟音楽療法研究会	地域の高齢者をつなぐ音楽療法を目指して ～認知症カフェでの実践と考察～
jmta098	鈴木 暁子	東加古川病院	どう答える？音楽療法への問いかけ 学会への問い合わせから見えてくるもの
jmta099	加戸 敬子	大阪成蹊短期大学 幼児教育学科	神経難病患者に対する音楽療法と心理療法との協働について
jmta100	熊谷由美子	信越・北陸支部 信濃音楽療法研究会	生活歴に存在した「ピアノ・レッスン」の再現から始めた音楽療法の効果 他者との交流を楽しむことをめざして、個別から集団活動への移行
jmta102	宮崎 知世	医療法人社団坂梨会 介護老人保健施設 愛・ライフ内牧	弾いてみようかな。 ～91歳、初めての楽器手習い～
jmta103	大竹 孔三	新潟音楽療法士協会	A県における音楽療法の職能団体と地域アーツカウンシルの3年間の取り組み 音楽療法を社会包摂に活用するための一考察
jmta104	林 真夕	富山県音楽療法協会	認知症高齢者に対する対話を重視した集団音楽療法 ～コロナ禍における取り組み～
jmta105	宇都宮 泉	イズミュージック	コロナ下における高齢者のウェルネスを検討する 音楽会を通じたmusicatingの視点から探る
jmta106	矢野 真澄	医療法人社団 啓愛会 小矢部大家病院	精神科病院内での音楽療法において、治療構造の変化により見えてきたこと ～他職種との連携の取り方について～
jmta107	杉原 千幸	特定非営利活動法人フリー・あ・ステージ	COVID-19の休業対策とリモート療法導入の検証について ～リモート療法での相互のやり取りの質の低下について考える～
jmta108	丸山 敬子	丸山療育音楽教室	ダウン症児の音楽療法を継続して 生涯発達の視点から20年間の活動を振り返る
jmta109	児玉千賀子	特定非営利活動法人アジェンダやまがた	自閉症スペクトラム児A君に対するピアノ指導の経過観察 ピアノレッスンの取組を通じた環境変化への適応とこだわりの軽減
jmta110	増田左知子	特定非営利活動法人 吹田市音楽療法推進会 おんがく・さ～くる・コスモス	地域高齢者の口腔ケアをコミュニティFMから発信する取り組み ～コロナ禍で中止になった口腔ケア教室やイベントの転換として～
jmta111	桜井 三月	公立学校共済組合関東中央病院精神科	児童思春期精神科病棟におけるコロナ禍での音楽療法の試み 歌唱・楽器・身体活動制限下でのVOCALOID作詞・作曲活動
jmta112	橋本 明子	認定NPO法人 発達わんぱく会 こころとことばの教室 こっこ	児童発達支援事業所におけるリモートセッションでの発達段階に即した効果的なプログラムについて 太田ステージ評価と認知発達特性による考察
jmta113	仲里 潔子	アンダンテ音楽研究室	Aさんを支える「愛国の花」
jmta115	鎌倉萌菜穂	東邦音楽大学 音楽学部	高齢者への音楽療法における録音音楽活用の現状(1) ～音楽療法士への質問紙調査から見る録音音楽活用要因の検討～
jmta116	山田由紀子	西宮音楽療法研究会	音楽の共有時空間 集団音楽療法における共有時空間の生成と変化
jmta117	本 由紀子	社会福祉法人さつき福祉会 放課後等デイサービスなでしこ	自閉症児における音楽活動の有効性について ～自閉症U児の打楽器を用いた音楽活動を通して～
jmta118	富田 優子	特定非営利活動法人フリー・あ・ステージ	入所施設で暮らす成人AのQOLの向上を目指す音楽療法 ～長期療法計画と職員との連携で自己表現を拡大する。～
jmta119	中嶋真理子	調布市ちょうふの里	認知症高齢者のコミュニケーションとしての音楽 ジャンベと挨拶言葉による即興演奏
jmta120	山本 知香	滋賀大学教育学部附属音楽教育支援センター	エピソード記述のファーストステップ 音楽療法の実践を深めるために
jmta121	山口理恵子	神戸市立盲学校	特別支援学校の教科としての『音楽』と音楽療法の共通点を探る 新学習指導要領の「目的」と「内容」から
jmta122	新山 広花	東邦音楽大学 音楽学部	音楽療法士の高齢者家族に対する在宅介護における音楽活用の現状と可能性
jmta123	遠山 沙希	株式会社PLUNURSE 多機能型重症児デイサービスCuole城南／あまくさ	視覚障害を伴う重複障害児への個人音楽療法の試み —活動中の自傷行為の低減とコミュニケーションスキル向上に向けたアプローチ—
jmta125	根岸 由香	筑波大学附属大塚特別支援学校	ゲーミフィケーションを取り入れた「つながる音楽活動」の工夫 ～心身の活性化・意欲の向上・社会性の獲得に焦点をあてて～
jmta126	小野塚 彩	新潟音楽療法士協会	音楽の成功体験により、失敗への抵抗感が減り課題に挑戦する力をつけた例
jmta127	田中 陽恵	星風きかく☆ことりの木	「(音楽)インクルーシブ教育」と「安全基地」からの視点による一考察 ～Y音楽教室での「ステージ(表現)活動」を含む試み～
jmta129	藤原 直子	大阪総合福祉専門学校	介護福祉士を目指す外国人留学生との音楽の取り組み ～合唱や創作音楽劇を通して～
jmta131	伊藤 美恵	特定非営利活動団体日本ミュージック・ケア協会	クライアントが自ら音楽を能動的に聴くことができるようになる楽曲と楽器の活用方法について 2020年度研究発表大会 宮本啓子氏によるワークショップ「能動的な音楽鑑賞を可能にするアプローチ」vol.2
jmta133	中村 裕子	小千谷さくら病院	コロナ禍の音楽療法 病室という生活の場を生かした音楽療法